

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	1 単位 保育の本質・目的	相談援助	鈴木 勲	2 年次	秋

授業のキーワード	ケースワーク、グループワーク、コミュニティーワーク
授業の概要	保育士は、子どもの保育と保護者に対する保育に関する指導、すなわち保護者に対する支援業務として課せられている。そのため、保育士を目指す学生も保護者支援の基本を学ぶ必要がある。本講では、相談援助の基礎となる社会福祉援助技術を中心に理解を深めていく。社会福祉援助技術のうち、専門職としての保育士に最低限となる子どもと保護者を受け止める、保護者の気持ちに共感し寄り添うなど、子どもと家族を取り巻く人間関係をいかに支援していくかということに着目しながら、演習問題やロールプレイなどをとおして体系的に学んでいく。
期待される学習成果（目標）	1.保護者に対して必要な相談援助を理解し、説明できるようになる。 2.社会福祉援助技術を理解し、相談援助の対象者に応じた適切な相談援助ができるようになる。 3.事例分析やロールプレイなどをとおして、自分の価値観やコミュニケーションの特性を知る。 4.自分自身の価値観を見つめなおし、保育士に求められる倫理感について考える。 5.保育者として、子どもと家族を取り巻く人間関係を適切に支援できる実践技術を身につける。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	相談援助とは何か(イントロダクション)	本講義全体の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。また、相談援助に必要な社会的背景を理解する。	第9講	相談援助の具体的展開I(計画・記録・評価)	相談援助の計画・方法・記録の作成と評価のあり方について理解する。
第2講	相談援助の概要I(相談援助の理論・相談援助の意義・相談援助の機能)	保育士による相談援助の理論、意義、機能について学ぶ。	第10講	相談援助の具体的展開II(社会資源の活用・調整・開発)	保育所などの児童福祉施設や保育士などの専門職にとって、社会資源の活用、調整、開発が必要とされる背景、理由などについて理解する。
第3講	相談援助の概要II(相談援助とソーシャルワーク)	保育・子育て支援における相談援助やソーシャルワークの原理・原則といった基本的な考え方を理解する。	第11講	相談援助の具体的展開III(関係機関との協働・多様な専門職との連携)	児童の福祉に関する機関・施設に働く専門職について理解する。また、関係機関との協働、多様な専門職との連携方法についても学ぶ。
第4講	相談援助の概要III(保育とソーシャルワーク)	保育ソーシャルワークの内容と技術を学び、事例をとおして具体的に考える。	第12講	事例検討I(虐待の予防と対応等の事例分析)	保育士として知っておかなければならぬ、児童虐待についての基礎知識を身につける。子ども虐待の予防と対応方法などについて事例分析を行う。
第5講	相談援助の方法と技術I(相談援助の対象とは何か)	相談援助の対象を学ぶ。また、人と環境の相互作用とその不調和について理解する。	第13講	事例検討II(障がいのある子どもとその保護者への支援事例分析)	障がいのある子どもとその保護者への支援事例から、地域における支援環境や障がい観について考える。また、自らの支援観や障がい観についても考えあわせてみる。
第6講	相談援助の方法と技術II(相談援助の過程)	相談援助の過程やそれぞれの段階をおいて配慮すべき事例について学ぶ。	第14講	事例検討III(ロールプレイ・フィールドワーク等による事例分析)	事例や保育を分析することの意義と方法を理解し、さまざまな状況や要因の把握とそれへの対応について考えを深める方法を習得する。
第7講	相談援助の方法と技術III(相談援助の技術とアプローチ①)	個別援助技術と集団援助技術の理論を学ぶ。また、事例をとおして具体的な実践方法と技術についても理解を深める。	第15講	保育士に求められる相談援助及び全体のまとめと振り返り	保育におけるソーシャルワークの応用について理解を深める。また、これまでの授業を振り返り、学習目標が達成できたか、自己評価を行う。併せて課題となるレポートについての説明も行う。
第8講	相談援助の方法と技術IV(相談援助の技術とアプローチ②)	社会福祉制度や社会資源を使いながら間接的に支援する地域援助技術の理論と方法を学ぶ。	定期試験		全体的な基礎知識を問うレポートの提出を求める。
評価方法	学期末のレポート50%、授業貢献度（授業態度、事例検討への参加、小レポート等）50%により、総合的な評価を行う。詳細については、初回の授業で説明を行う。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
テキストは特に指定せず、必要な資料は授業時に毎回配布する。			大嶋恭二・金子恵美編著『相談援助』建邦社 2011年 その他の参考文献については、随時、授業中に紹介する。		